

# 再造林の促進に向けた支援拡充及び財源確保

政策提言先 農林水産省

## 政策提言の要旨

2050年カーボンニュートラルの実現や持続可能な林業振興には再造林が重要であり、再造林時に森林所有者へのさらなる支援を行える多様な資金の活用体制を構築するとともに、増加する再造林への対応に向けて、作業の効率化・軽労化や再造林実施のベースとなる財源確保が必要です。

そのため、地域が自主的に行う多様な再造林支援の取組に対応できるよう基金造成への支援メニューを拡充するとともに、造林や育林に係る林業イノベーション現場実装推進プログラムによる機械開発の促進と効率化等に資する林業機械の早期実装に効果的な実証事業への支援の拡充に加え、増加する再造林に対応する造林公共事業の財源確保と2050年カーボンニュートラルの実現に向け再造林などに率先して取り組む地域への予算の重点配分を提言します。

### 【政策提言の具体的内容】

- 地域が自主的に行う多様な再造林支援の取組に対応できるよう基金造成への支援メニューの拡充
- 林業イノベーション現場実装推進プログラムによる機械開発の促進と、効率化等に資する林業機械の早期実装に向けた実証事業への支援の拡充
- 増加する再造林に対応する造林公共事業の財源確保と2050年カーボンニュートラルの実現に向け再造林などに率先して取り組む地域への予算の重点配分

### 【政策提言の理由】

- ・国では、森林・林業基本計画において、再造林等により森林の適正な管理・利用を図りながら、2050年カーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」の実現や伐採から再造林・保育に至る収支をプラス転換する「新しい林業」を目指す取組を展開することとしています。
- ・本県では、「高知県産業振興計画」において、令和7年度の再造林率の目標を70% (690ha) と定め、この達成に向けた取組を展開するとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた「高知県脱炭素社会推進アクションプラン」においても、再造林をはじめとする持続可能な林業振興等を通じた吸収源対策を推進しており、造林経費、低コスト造林への支援や再造林推進員の活動支援などに県独自で取り組み、再造林面積は着実に増加しています。
- ・一方で、再造林率は40%前後で推移しており、再造林に取り組む林業事業者への意向調査では、森林所有者の負担がない手厚い補助金や基金を造成し森林所有者を支援する仕組みが必要、との回答が上位を占めるなど、多様な資金の活用体制の構築が必要です。また、限られた担い手の中で増加する再造林に対応するためには一層の効率化が必要となることから、これまで大型ドローンによる苗木等の運搬や、下刈機械などの実証を進めてきたところです。
- ・また、令和5年度には、新たに「再造林推進プラン」を策定し、抜本的な対策を講じていくことに併せ、県独自で基金団体の設立などの新たな動きへの対応や、さらなる効率化等に資する林業機械の実証データの取得を進め、機械の導入を促進することにより目標面積の達成につなげていくこととしています。
- ・そのため、地域が自主的に行う多様な再造林支援の取組に対応できるよう基金造成への支援メニューを拡充するとともに、「林業イノベーション現場実装推進プログラム」による機械開発の促進と、効率化等に資する林業機械の早期実装に向けて各地域において実証データを取得する取組への支援を拡充し、新しい林業を実現していくことが必要です。加えて、増加する再造林に対応する造林公共事業の財源確保と2050年カーボンニュートラルの実現に向け再造林などに率先して取り組む地域への予算の重点配分が必要です。